資料６

第２回堺市医療・病床部会結果の概要

**１ 地域医療構想の推進に関する意見**

〇高度急性期の定義がはっきりしていない中で、高度急性期として自主申告して、過剰になるのは望ましくないという議論はどうなのか。高度急性期、急性期の共通の定義がなければ過剰なのかどうかは、はっきりとしない。その中で、過剰だから望ましくないというのは議論として合わない。

〇三次救急も含め病院が努力して高度急性期を維持されている。何百床と簡単に増やせる機能ではないと考えるので一定の目安は持っていいが、高度急性期の機能は、市民にとって非常に大切な診療機能ではないか。

**２ 病院の将来プランに対する意見・質問等**

1. **公立・公的病院**

　　　●堺市立総合医療センター・近畿中央呼吸器センター・大阪労災病院・馬場記念病院・

耳原総合病院・ベルランド総合病院：特になし

1. **その他、民間病院等に対する意見・質問等**

　　　特になし

**３ 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院**

　　　特になし